

が始まったころでしたが、今ではインターネットがこれほどまでに発達しているんですから。

あっ、ふれあい歯科ごとも9時始業だった！

個人差

おそらく、全ての医療者が考えていることは個人差です。と言っても漠然とした話ですが、そのとらえ方によって方針が大きく異なります。皆さんもご存知のように健康診断などに行くとき様々なデータが出てきます。血液検査などはわかりやすいですが、自分のデータが数値化されて、標準値との比較で正常範囲かそうでないかを示されます。問題はその標準値です。標準値とは、自分以外の人

のデータをたくさん集めて平均化したものです。決して自分の正常値ではないということですよ。

血圧の薬などを飲んでいての方はとても多いですが、標準値に入れるための薬です。でも、その目標が本当にあっているかどうかは…神のみが知るレベルです。

歯科のレベルはもっと難しいです。というのも、数値化されるデータがとも少ないんです。例えば、僕たちが学生時代に「この位のむし歯は削りましょう」と習うのですが、そんなにむし歯がどんどん進行する人ではなく、このむし歯自体もかなり昔にできていて最近では進行していないなあと思っただけなら削らずに待



つこともありますし、全体的にむし歯の進行が早い人では、多少早い段階でも削ってかぶせ物をした方がいいケースもあります。

超！当たり前前の話ですが、人間には個人差があります。しかし、おそらく今も医療教育に個人差の話はほとんど出てきません。もちろん、それを言い始めるときりがありませんから。でも、今の医療を見てみると「標準値はあるけどこの人はどうだろう」という感覚ではなく、「標準値に入れるためにこうする」となっている気がします。

自分自身を一番知るのは自分自身です。皆さんも医療に頼り切るのではなく、医療情報をもとに自分のことは自分で判断するくらいの気持ちがあつていいですよ。だって皆さんの大切な体ですから。